



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	37,193	9.2	2,411	30.6	△1,377	—	△1,084	—
28年3月期第1四半期	34,044	3.0	1,846	66.9	2,369	86.9	1,567	79.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △2,292百万円(—%) 28年3月期第1四半期 1,731百万円(79.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△11.16	—
28年3月期第1四半期	16.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	167,960	77,848	46.0
28年3月期	161,055	80,646	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 77,320百万円 28年3月期 80,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	6.2	4,000	28.7	4,000	26.2	2,500	34.7	25.71
通期	140,000	6.3	11,000	31.5	11,000	54.8	7,000	97.5	71.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記情報）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	113,184,548株	28年3月期	113,184,548株
29年3月期1Q	15,947,744株	28年3月期	15,947,724株
29年3月期1Q	97,236,819株	28年3月期1Q	97,237,536株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円高や株安を受け景気は足踏み状態が続いております。また、個人消費についても雇用環境が改善しているものの弱含みで推移しております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続きポートフォリオ経営の強化に取り組んで参りました。その結果、当第一四半期連結累計期間の売上高は37,193百万円（前年同期比9.2%増）となりました。営業利益は総合通販事業やソリューション事業での増益などにより2,411百万円（同30.6%増）となる一方、為替相場の変動による利益が前年とは逆にマイナスとなったため、経常損失は1,377百万円（前年同期は経常利益2,369百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,084百万円（前年同期は当期純利益1,567百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

衣料品の売上が伸び悩み、売上高は20,442百万円（同0.6%増）となりました。また、セグメント利益は物流費率の改善などにより1,354百万円（同24.7%増）となりました。

〔専門通販事業〕

丸長燐の売上が寄与したことなどで、売上高は9,841百万円（同22.6%増）となりました。また、セグメント利益は㈱アンファミエの収益改善などで290百万円（同63.2%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

アパレル店舗事業に加えて、和装店舗事業も順調に売上を伸ばしたことで、売上高は3,077百万円（同27.3%増）となりましたが、セグメント利益は新規に株式取得した㈱マイムの季節要因などにより101百万円の損失（前年同期はセグメント利益31百万円）となりました。

〔ソリューション事業〕

封入・同送サービス事業に加え、通販代行サービス事業も順調に売上を伸ばし、売上高は1,479百万円（同29.2%増）、セグメント利益は736百万円（同71.8%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は746百万円（同7.9%増）、セグメント利益は195百万円（同27.9%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業の売上が伸び悩み、売上高は754百万円（同0.2%減）となりましたが、セグメント利益は48百万円（同62.2%増）となりました。

〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は1,076百万円（同24.6%増）となりましたが、セグメント利益は27百万円の損失（前年同期はセグメント利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比6,167百万円増加し、80,356百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,477百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が1,790百万円、商品及び製品が1,708百万円、販売用不動産が2,573百万円、仕掛販売用不動産が2,224百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比737百万円増加し、87,604百万円となりました。これは主に建物及び構築物が627百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比6,904百万円増加し、167,960百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比6,653百万円増加し、44,081百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4,398百万円、短期借入金が2,162百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比3,049百万円増加し、46,030百万円となりました。これは主にその他固定負債が2,806百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比9,702百万円増加し、90,111百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,798百万円減少し、77,848百万円となりました。この結果、自己資本比率は46.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したLABB CAPITAL LLCを連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、株式を取得した㈱マイムを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,478	17,000
受取手形及び売掛金	9,279	11,070
営業貸付金	18,082	18,400
有価証券	346	759
商品及び製品	15,610	17,318
原材料及び貯蔵品	1,220	475
販売用不動産	999	3,573
仕掛販売用不動産	3,173	5,397
繰延税金資産	684	1,134
その他	6,417	6,320
貸倒引当金	△1,104	△1,095
流動資産合計	74,189	80,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,341	21,969
機械装置及び運搬具（純額）	902	877
工具、器具及び備品（純額）	378	388
土地	35,400	34,877
リース資産（純額）	366	342
建設仮勘定	1,069	971
有形固定資産合計	59,459	59,425
無形固定資産		
のれん	3,231	3,376
リース資産	1,612	1,463
その他	3,498	3,389
無形固定資産合計	8,342	8,228
投資その他の資産		
投資有価証券	14,561	13,659
長期貸付金	1,580	1,476
破産更生債権等	239	250
繰延税金資産	1,007	1,170
その他	1,952	3,663
貸倒引当金	△276	△271
投資その他の資産合計	19,065	19,949
固定資産合計	86,866	87,604
資産合計	161,055	167,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,633	20,031
短期借入金	8,109	10,271
未払費用	7,880	8,275
リース債務	680	664
未払法人税等	951	92
賞与引当金	569	359
返品調整引当金	67	98
ポイント引当金	599	620
その他	2,936	3,668
流動負債合計	37,428	44,081
固定負債		
社債	-	45
長期借入金	38,359	38,768
利息返還損失引当金	1,048	986
リース債務	1,316	1,160
退職給付に係る負債	65	63
役員退職慰労引当金	252	258
資産除去債務	505	507
その他	1,433	4,240
固定負債合計	42,981	46,030
負債合計	80,409	90,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	68,449	66,756
自己株式	△9,677	△9,677
株主資本合計	80,382	78,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584	138
為替換算調整勘定	△811	△1,528
退職給付に係る調整累計額	22	20
その他の包括利益累計額合計	△204	△1,369
非支配株主持分	468	527
純資産合計	80,646	77,848
負債純資産合計	161,055	167,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	34,044	37,193
売上原価	14,528	16,148
売上総利益	19,516	21,044
返品調整引当金繰延差額	35	31
差引売上総利益	19,480	21,013
販売費及び一般管理費	17,633	18,601
営業利益	1,846	2,411
営業外収益		
受取配当金	89	67
為替差益	176	-
デリバティブ評価益	246	-
その他	284	329
営業外収益合計	796	397
営業外費用		
支払利息	31	27
支払手数料	189	6
為替差損	-	326
デリバティブ評価損	-	3,773
その他	52	52
営業外費用合計	273	4,186
経常利益又は経常損失(△)	2,369	△1,377
特別利益		
投資有価証券売却益	31	-
特別利益合計	31	-
特別損失		
固定資産除却損	-	6
減損損失	-	78
投資有価証券売却損	-	8
特別損失合計	-	93
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	2,401	△1,471
法人税、住民税及び事業税	663	68
法人税等調整額	182	△451
法人税等合計	846	△383
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,554	△1,087
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,567	△1,084

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,554	△1,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	△445
為替換算調整勘定	84	△757
退職給付に係る調整額	△3	△1
その他の包括利益合計	176	△1,205
四半期包括利益	1,731	△2,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,738	△2,249
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	20,287	8,021	2,417	1,020	692	752	852	—	34,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	3	—	124	—	3	10	△176	—
計	20,321	8,024	2,417	1,145	692	755	863	△176	34,044
セグメント利益	1,085	178	31	428	152	29	16	△76	1,846

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳32百万円とのれん償却費△109百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	20,352	9,817	3,077	1,383	746	748	1,066	—	37,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	23	—	95	—	5	10	△225	—
計	20,442	9,841	3,077	1,479	746	754	1,076	△225	37,193
セグセグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,354	290	△101	736	195	48	△27	△85	2,411

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳31百万円とのれん償却費△117百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。